

令和3年5月19日

貝塚市議会議員 殿

オンライン研修会報告書

報告者 平岩征樹

参加者 平岩征樹

○ コロナ禍の生活支援現場から～これからの自治体議員が持つべき視点～

開催日：令和3年4月20日（火）14：00～16：00

■ 第一部 基調講演 コロナ禍で何が起こっていたのか

講師：稲葉剛氏（一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事、立教大学大学院客員教授）

主に東京で生活困窮者支援を行う稲葉氏より、昨年からの現場での報告を頂いた。緊急事態宣言により住む場所を失ったネットカフェ住民、TwitterなどSNSから届くSOS等現代社会ならではの課題が多く見られた。中でも、本当に困った人達の多くは携帯電話料金が払えず止められているが、本体は持っているため公共Wifiが命綱になっていることは支援側が意識しないといけない点であると強く感じた。

■ 第二部 自治体に期待される生活困窮者支援の今後

コーディネーター：おぐら修平（足立区議会議員）

パネリスト：赤石千衣子（しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長）

稲葉剛

貧困問題やニート・引きこもり支援を専門分野に取り組むおぐら修平足立区議会議員をコーディネーターに、自治体の支援のあり方について活発な議論があった。参加者の地方自治体議員を交えて支援現場の課題は何か、行政支援はどうあるべきか様々な観点から議論が展開された。

○ 行政DXの推進～実現に向けた取組みと課題～

開催日：令和3年4月21日（水）14：00～16：00

講師：高山聖氏（EY 新日本有限責任監査法人シニアマネージャー）

デジタル庁、自治体DX推進計画やデジタル関係3法案などを踏まえ、行政DXの目指すべきものとその進め方についてお話し頂いた。地方自治体の先進事例や専門家の立場での知見は大変参考になるものであった。